

組織の礎確立委員会

基本方針

副理事長 下田 寛

委員長 石橋 寿生

1 現在の鳥栖 J C は、会員減少に伴う事業構築の難しさ、若い会員増による経験不足や J
2 C のルール遵守の徹底などの課題があり、J C 活動・運動への意識を原点から見つめ直し、
3 組織全体の更なる意識改革を行うことが喫緊の課題です。これらの問題解決に向け、例会・
4 総会セレモニーを、会員の意識向上や意思統一の場と捉え、何事にも本気で取り組む組織
5 へと変革し、力強い発信を行う覚悟を持った人財あふれる組織になることが必要です。

6 まずは、例会・総会の場を本気で取り組む組織へと変革するために、J C プロトコルに
7 注力した厳格で気合いみなぎるセレモニーを開催することにより、会員の意識を高め意志
8 統一を図ります。そして、互いが認め合い支え合うことができる力強い運動を展開するた
9 めに、会員の交流や結束につながる例会事業を実施することで、絆を深めより実りある運
10 動へと繋がります。さらに、同志が集う場である例会・総会に出席するという使命感を持っ
11 ていただくために、個人の意識を高める設えを行うことで、参画意識向上を目指します。
12 また、何事にも本気で取り組む組織として地域の未来を創造していくために、発信力のある
13 広報を行うことで、鳥栖 J C の理念を地域に伝え共感の輪を広げていきます。そして、鳥
14 栖 J C の運動に対し応援や人的支援を行っていただける市民を増やすために、J C ファ
15 ン・サポーターを獲得することで、将来の会員拡大に繋げて参ります。さらに、J C の理
16 念をベースとして自らの創意工夫を織り交ぜながら例会で学んだことを発展させるために、
17 地区大会及び各種大会への参加率の向上を目指し、会員と組織のスキルアップに繋がります。

18 地域リーダーとしての自覚を持ち、学び舎による J C の意識向上によって変革した鳥栖
19 J C が、組織としての使命をしっかりと胸に定め、守・破・離の精神で変革の先頭に立っ
20 て行動し、組織一丸となって、次世代に誇れる地域の実現に向けて行動を興して参ります。

21 22 23 24 <職務分掌>

- 25 1. 厳格なる例会・総会の主管運営
- 26 2. 会員の交流や結束につながる例会事業の実施
- 27 3. 例会・総会出席率向上のための取組み
- 28 4. J C の運動に共感を生む広報
- 29 5. 鳥栖 J C のファン・サポーター獲得に関する取組み
- 30 6. 地区大会および各種大会への参加率向上のための取組み
- 31 7. 会員拡大の実施